



荏原商事株式会社 北陸支社
支社長 山内 宏章 氏



安定した通信、安価な通信料金で下水道マンホールポンプ等施設の遠隔監視を実現。人手不足の中、保守の効率化に寄与！

会社概要

水と空気の総合エンジニアリング企業として、上下水道に関わる事業や環境設備事業、設備の保守監視事業、再生可能エネルギー事業など、幅広い事業を展開しています。

自社開発したクラウド遠隔監視システム「Quendi」では、下水道等の排水施設、プラントにおける浄水設備、小水力発電設備等（ポンプ・水車状況・水位等）の365日監視を実現しています。

課題 大量のデータ量による通信コストおよび定期的な巡回確認の手間

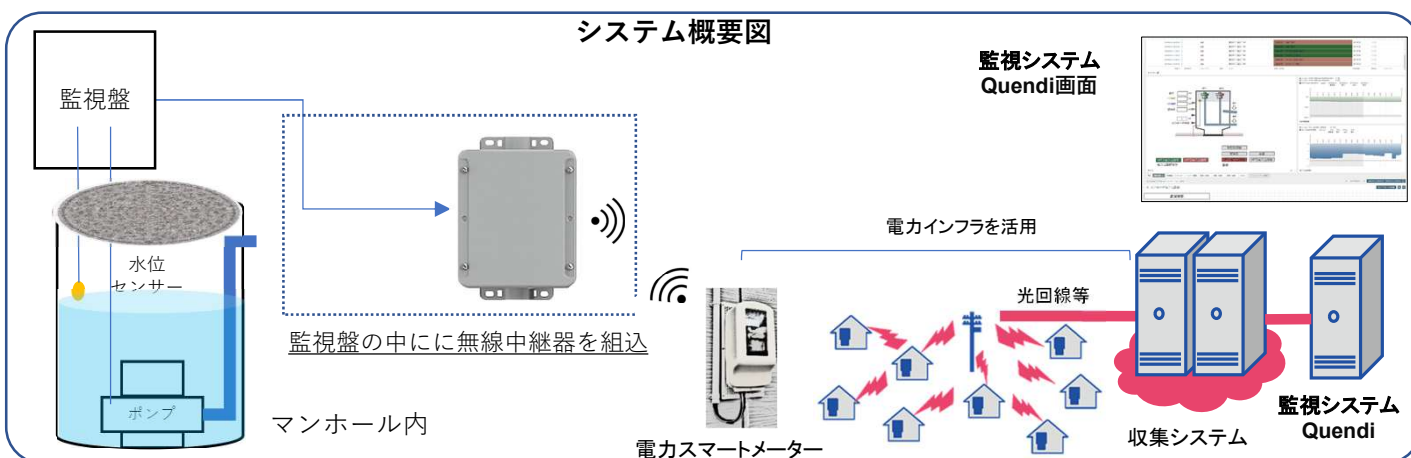
これまで「Quendi」では、家庭排水を下水処理場へ送るポンプの水位や運転状況を携帯電話回線を利用して遠隔監視していましたが、データ量が多く通信費がかさむことや、山間部など電波が届きにくい地域ではデータの送受信が難しい事が課題になっていました。そのため、同地域では定期的な巡回確認が欠かせず、手間とコストがかかっていました。

そこで注目したのが「北陸電力送配電のIoT通信回線サービス」でした。このサービスは電気を検針する仕組みを応用しているため、安定した通信環境を低コストで確保できます。これにより山間部を含む広い範囲でのセンサーを設置し「S-Quendi」で監視できるようになりました。

効果 運用コスト削減と山間部エリアのカバーに加え、災害に強い監視体制構築

電力インフラを活用しているため、低コストで運用できるだけでなく、災害時にも強い監視体制を構築できたというのも大きなメリットでした。

災害が発生した場合でも、電力が復旧すれば回線も同時に復旧するため、停電から回復してポンプが再び動き出すタイミングで遠隔監視も再開できます。これにより下水道の状況をいち早く把握し、迅速に制御できる体制を整えることができました。



本サービスに関するお問合せ先

北陸電力送配電株式会社 電力流通部ネットワークサービス推進チーム
E-mail : sm-iot-service@nw.rikuden.co.jp

ホームページ⇒

